

# 気象データに基づく発生予測コンテストの結果

電子情報通信学会  
ニューロコンピューティング研究専門委員会

\$Id: index.html,v 1.1 1998/08/29 08:17:15 shouno Exp shouno \$:  
Last Modified: Wednesday, 31-Mar-1999 15:49:29 JST

## コンテストの規定より

予測誤り数 (霧が発生すると予測して発生しなかった場合の数と、逆に霧が発生しないと予測して発生した場合の数の合計) が少ないものほど良いと考えます。

## 視程か天気の欄が「不明」である時刻の扱い

予測: 霧発生有り以外 : P0

霧発生有り: P1

実測: 観測データ無し : A0

霧発生不明: A1

霧発生無し: A2

霧発生有り: A3

P0 A0 正誤の判定不要 (N00)

P0 A1 正誤の判定不能 (N01)

P0 A2 正 (N02)

P0 A3 誤 (N03)

P1 A0 プログラムのバグ (N10)

P1 A1 正誤の判定不能 (N11)

P1 A2 誤 (N12)

P1 A3 正 (N13)

予測誤り数 (P0 A3 の個数) + (P1 A2 の個数)

## 誤り数評価プログラムの方針

2 × 12 × 31 × 240 のサイズを持つ4次元配列に、2年間分の0.1時間毎の時刻での霧の有無コードを入れ、前記の式で予測誤りを数えた。

## 結果 (成績順)

1. 予測者 02 予測誤り数=370  
霧発生予測数=622, 霧発生観測数=539, 霧発生正解数=374  
(N02=10509, N03=165, N10=0, N11=43, N12=205, N13=374)  
Anto Satriyo Nugroho, 黒柳 奨, 岩田 彰  
名古屋工業大学
2. 予測者 05 予測誤り数=445  
霧発生予測数=169, 霧発生観測数=539, 霧発生正解数=127  
(N02=10681, N03=412, N10=0, N11=9, N12=33, N13=127)

山田貢己  
東芝S技術開発センター

3. 予測者 04 予測誤り数=734  
霧発生予測数=908, 霧発生観測数=539, 霧発生正解数=178  
(N02=10341, N03=361, N10=0, N11=357, N12=373, N13=178)  
藤村喜久郎, 白川敦彦, 徳高平蔵  
鳥取大学工学部電気電子工学科
4. 予測者 01 予測誤り数=1141  
霧発生予測数=2428, 霧発生観測数=539, 霧発生正解数=441  
(N02=9671, N03=98, N10=0, N11=944, N12=1043, N13=441)
5. 予測者 03 予測誤り数=2385  
霧発生予測数=5281, 霧発生観測数=539, 霧発生正解数=258  
(N02=8610, N03=281, N10=0, N11=2919, N12=2104, N13=258)

---

## 評価プログラムとデータ

評価プログラムとデータは [ftp サイト](#) の [observed ディレクトリ](#) においてあります。アーカイブしたファイルは [observed.tar.gz](#) です。

---

[ [ニューロコンピューティング研究会](#) ] [ [電子情報通信学会](#) ]

---

This server is powered by [Apache](#) on [FreeBSD](#).



BSD Daemon Copyright 1988 by Marshall Kirk McKusick.  
All Rights Reserved.  
Permission to use the daemon may be obtained from:

Marshall Kirk McKusick  
1614 Oxford St. Berkeley, CA 94709-1608, USA  
[mckusick@mckusick.com](mailto:mckusick@mckusick.com)

---